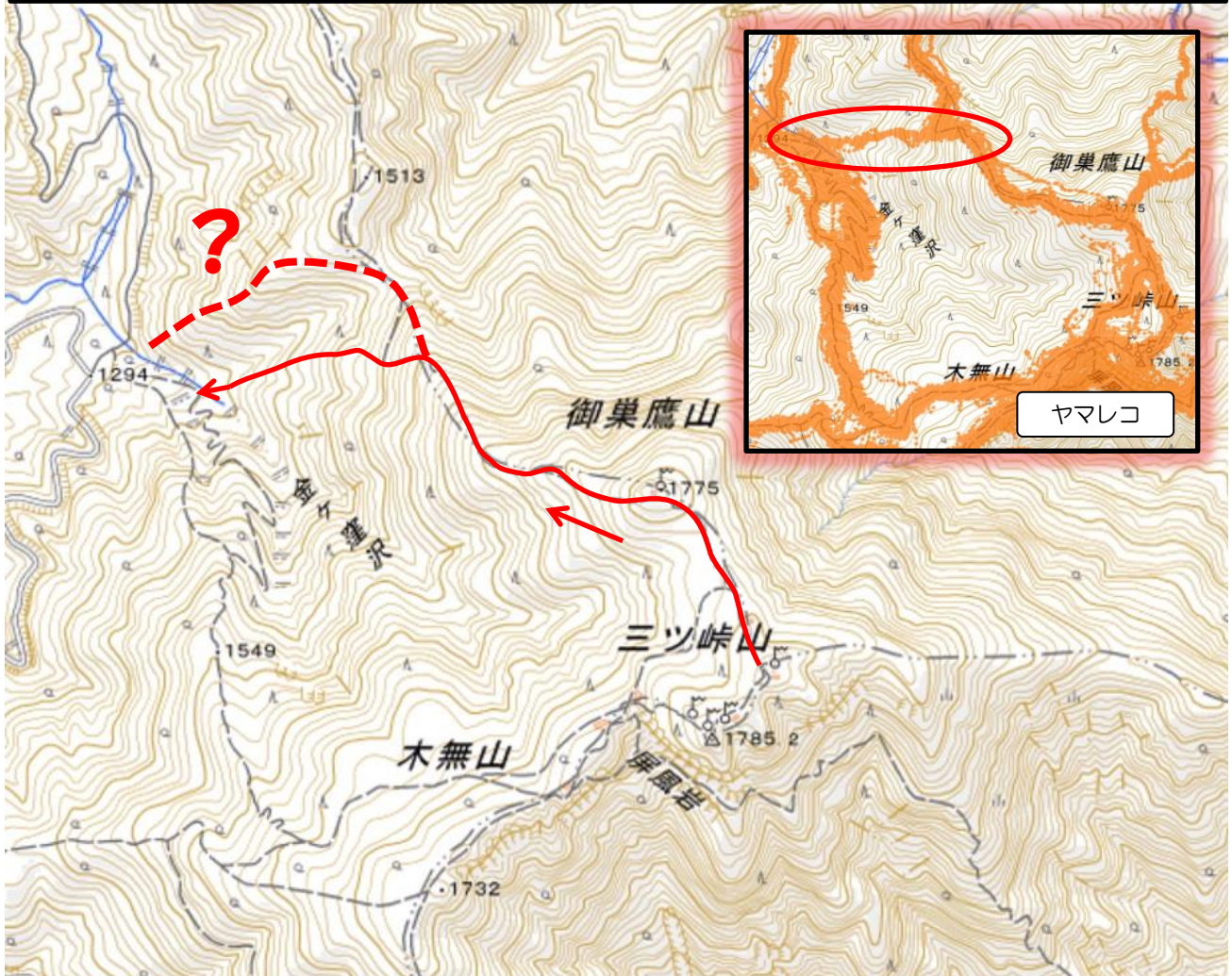


## 三ツ峠山道迷い(2016年4月)

赤テープを目印に歩くも途中で無くなったため、GPSを見ると道を外れているのを確認。仕方なく駐車場方向へそのまま下山した。



## 解説

三ツ峠からその先に行く人はほとんどいなかったのですが、私は御巢鷹山から茶臼岳を抜けて周遊したかったのでその先へ進みました。が、露岩(表示がないのでわかりませんが)あたりから、全く目印が無くなってしまい、GPSを見るとどうやら道を外れているようで、仕方なく駐車場方向へそのまま下山する事にしました。実は道迷い、2回目なんです。前はGPS持ってなく、他の人に助けられ、それから使うようにしてたのです。あー良かった。(HP参照)

地図アプリのGPSはとても便利で私も愛用しているが、「あれっ？おかしい？」と思った次の行動で「道迷い」と「遭難」のターニングポイントになってしまう。仕方なく駐車場の方向へそのまま下山し無事であったが、滑落等の心配はなかったのだろうか？道が違っていると確認できた段階で戻る事が重要。

過去の遭難事例では「尾根から少しくだった場所で道迷いに気づいたが、そのまま下ったため沢に降りてしまい滑落した」ということが起きている。間違いに気づき現在位置が分かった場合は「引き返す以外に道はない」と思ってほしい。